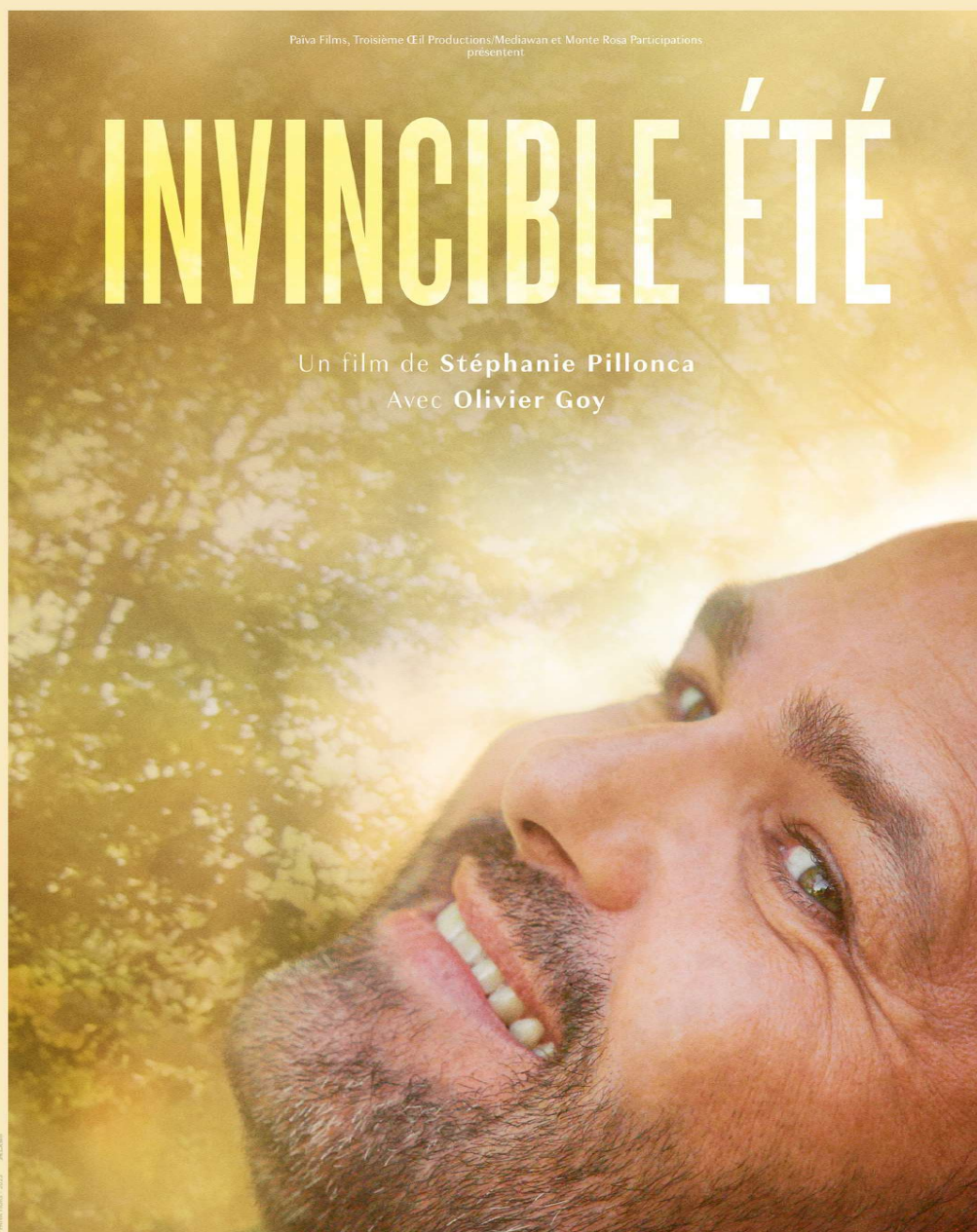


映画『不屈の夏』 逗子上映講演会 2月23日(金・祝) 開催



不屈の夏

「余命はおそらく3年で、治療法はない。」
2020年12月のある朝、オリヴィエ・ゴアは筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された。
しかし、オリヴィエはこのカウントダウンを無視することに決めた。
障がい乗り越え、自分の人生に残された時間を全うし、
家族とともに笑顔で精一杯生きる新たな人生に乗り出す。

日時 2月23日(金・祝) 開場13:00 開演13:30 終演16:30

会場 逗子文化プラザ なぎさホール (逗子市逗子4-2-10)

料金 全席自由席 入場無料 *入場には無料整理券が必要です

主催 『不屈の夏』逗子上映実行委員会



予告動画

無料整理券を
逗子文化プラザ
ホール窓口にて
配布(先着順)
2/1 9:00~

問合せ窓口 046-873-1111 (逗子市障がい福祉課) 平日8:30~17:00



このドキュメンタリーは、
すべての人に手を差し伸べるものだ。
些細なことでもただけ
自分の人生を台無しにしていたか、
そして人生がどれほど美しいことか。

主演 オリヴィエ・ゴア

Story ～ストーリー～



「余命はおそらく3年で、治療法はない。」

2020年12月のある朝、オリヴィエ・ゴアは筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された。

しかし、彼はこのカウントダウンを無視することに決めた。障がいを乗り越え、自分の人生に残された時間を全うし、家族とともに笑顔で精一杯生きる新たな人生に乗り出す。

このドキュメンタリーは、テクノロジーに情熱を注ぐ企業家として、家族を守りたいと願う父として、そして不治の病に冒された患者として、オリヴィエの新しい日常を追う。

「不屈の夏」は明らかに人生と愛への賛歌である。
暗いものは何もない。美しさ、笑い、時に涙がある。

Message ～開催にかける思い～

フランスで偶然に知ったオリヴィエ。同じ不治の病であるALSの患者なのに、真正面から病気に向き合い、他の病を背負った人達を力づけている姿に、強烈な印象を受けました。また家族が衝撃を乗り越えて、彼の思いを共に達成しようとする姿にも強く心をうたれました。

彼のメッセージはALS患者のみならず様々な苦難に打ちひしがれている日本の方たちにも伝わるはずと確信し、日本での試写会開催をオリヴィエに直談判。快諾を得て行なった昨年11月の東京での試写会は大成功となりました。現在一般公開に向けて準備が進む傍ら、私の地元逗子で、国内初となる個別上映会が開催される運びとなったことを大変嬉しく思っています。

困難に立ち向かうオリヴィエと彼を支える家族の笑顔と勇気が、皆様の力となれば幸いです。



呼びかけ人 畠中 一郎
(一財)すこやかさゆたかさの未来研究所代表理事

Contents ～上映講演会内容～

- 第一部 畠中一郎氏対談講演会
- 第二部 『不屈の夏』上映（上映時間 106分）
- 第三部 オリヴィエ・ゴア氏のメッセージ

* 映画は日本語字幕。ご家族でお楽しみいただける内容です。
* 第一部・第三部は手話通訳と要約筆記（パソコン文字通訳）があります。

Notice ～ご注意事項～

- 入場には人数分の無料整理券が必要です。無料整理券は逗子文化プラザホール窓口（休館日を除く9-20時）にて配布しております。
- 配布期間は、2月1日9時から前日2月22日20時までです。
- 入場整理券は先着順で配布し、無くなり次第終了です。その際、当日券はありません。お電話でのご予約はできません。
- 車椅子でのご来場を歓迎いたします。車椅子席を臨時増席してご用意しています。入場整理券は必要です、事前お申し込み下さい。

【主催】 『不屈の夏』逗子上映実行委員会

【共催】 逗子市、一般財団法人すこやかさゆたかさの未来研究所

【協力】 逗子ロータリークラブ、逗子市商工会、逗子市観光協会、逗子市社会福祉協議会、逗子文化プラザホール、NPO法人すこやかいぎき協議会、かながわ学生ボランティア連合、3.11つなぐっぺし、株式会社タウンニュース社、湘南ビーチFM、逗子葉山経済新聞、逗子駅構内タクシー組合

【後援】 逗子市教育委員会、逗子市文化協会、逗子市スポーツ協会、逗葉医師会、逗葉歯科医師会、逗葉薬剤師会、NPO法人逗子まちなかアカデミー、逗子フェアトレードタウンの会